

傾聴ボランティア

「あいりす」通信

第 23 号



〒682-0025 倉吉市八屋 301-1

はーとぴあ創造内 あいりす事務所

TEL・FAX0858-24-5378 携帯電話 090-2804-8014 (竹森)

E-mail:ailis@heart-ailis.com

http://www.heart-ailis.com

年頭の挨拶



「生きているということは、誰かに借りを作ること
生きているということは、その借りを返していくこと
誰かにかりたら、誰かに返そう
誰かにそうしてもらったように、誰かにそうしてあげよう
誰かと手をつなぐことは、その温もりを忘れないでいること
巡り会い、愛し合い、やがて別れのその時、
悔いのないように今日を明日を生きよう
人は一人で生きて行けないから
誰でも一人では歩いてゆけないから」
私の人生訓。傾聴ボランティアの根本的発想でもあります。しかし、如何せん超高齢者となつたいまは借りっぱなしの人生となっています。



暮らしに希望を得るために日々心の体操を大切に「いいこと」探しに頑張っています。

傾聴ボランティア「あいりす」会長 竹森民枝

公開講座

2月11日(火) シンポジウムが変更になりました。

日時：3月1日(日) 13:30～

場所：倉吉市社会福祉協議会 大会議室 倉吉市福吉 1400 TEL22-5248

講師：大熊由紀子国際医療福祉大学大学院教授

演題：恋するようにボランティア～優しき挑戦者たち～(仮題)

(経歴) 東京大学教養部で科学史、科学哲学を専攻。卒業後朝日新聞社に入社。社会部記者、科学部記者、科学部次長等を経て、1984年、朝日新聞社で女性初の論説委員になり、医療、福祉、科学分野の社説を17年間担当。

○平成 27 年 1～2 月の行事予定

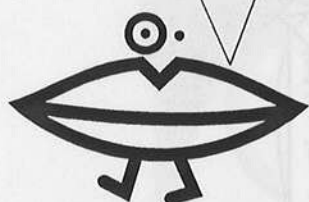
1 月（養成講座・定例研修会）

- ・養成講座 **1 月 15 日（木） 13:30～15:00 セミナールーム 7 朝日新聞社**
 講 師：浜田妙子傾聴ボランティア「あいりす」顧問
 講座内容：聴き手になるためのコミュニケーション
 定例研修会：15:10～16:10

2 月

- ・関係機関連絡協議会 2 月 17 日（火） 13:30～15:00 セミナールーム 6

あのね（会員のつぶやき）



笑顔が大切

私は傾聴とは何か、深く理解しないままにボランティアの仲間入りをしました。2～3回の研修を受けましたが、研修、講習を重ねるごとに難しく感じましたが、体験をしながら頑張ることにしました。相手の方が、何も話されずじーと、一か所を見つめている方のお話を聴かせて頂きました。暫くどうしたらよいだらうと考えました。そして、まず自分の名前・住所等を自己

紹介したら相手の方が「わしわなあ～〇〇生まれで何才。お前より若いよ」と言いながら少しずつ話されるようになりました。ホットしやっと安堵したことがありました。それからは笑顔も出るようになり、45分間が過ぎて行きました。話し相手になることは大変難しいです。

私は気が短い上に、早とちりする癖があります。この傾聴ボランティアで学ぶことが多く、少しずつ自分自身を磨くことができると自負しています。これからも元気で笑顔で続けていきたいと思っています。（T・H）

事務局だより



- ・新しい年を迎え「あいりす」の活動も4年目を迎えます。会員の皆さんの思いやりと協力得て広がっています。
- ・公開講座が変更になったことをお詫びします。3月1日（日）は会員が力を合わせて意義のある公開講座にしましょう。
- ・映画「つるしびな」鑑賞にご協力下さい。「あいりす」も協力団体になっています

3月3日（火） 13:30～14:50 19:00～20:20

監督と主演者のトーク 15:00～16:00

入場料 500 円 倉吉未来中心小ホール

- ・イキイキ、はつらつと生きるために、運動・栄養・社会力・認知が大切。傾聴ボランティア活動は社会参加ができ、認知力も高めることができます。（人の話を聴いてどう答えるか考える）自分にとっていいことづくし。自分も大切、仲間も大切、みんなも大切。今年もよろしくお願ひします。